

日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)

運用報告書(全体版)

第91期(決算日 2018年5月17日) 第93期(決算日 2018年7月17日) 第95期(決算日 2018年9月18日)
第92期(決算日 2018年6月18日) 第94期(決算日 2018年8月17日) 第96期(決算日 2018年10月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)」は、2018年10月17日に第96期の決算を行ないましたので、第91期から第96期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2010年10月29日から2020年10月19日までです。
運用方針	主として、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<652946>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落					
67期(2016年5月17日)	円 2,386		円 20	% 1.4	% —	% 98.5	百万円 7,372		
68期(2016年6月17日)	2,408		20	1.8	—	98.5	7,196		
69期(2016年7月19日)	2,564		20	7.3	—	98.2	7,453		
70期(2016年8月17日)	2,553		20	0.4	—	97.9	7,251		
71期(2016年9月20日)	2,458		20	△2.9	—	98.5	6,802		
72期(2016年10月17日)	2,520		20	3.3	—	98.4	6,877		
73期(2016年11月17日)	2,378		20	△4.8	—	98.4	6,332		
74期(2016年12月19日)	2,475		20	4.9	—	98.5	6,383		
75期(2017年1月17日)	2,460		20	0.2	—	98.6	6,293		
76期(2017年2月17日)	2,549		20	4.4	—	98.6	6,397		
77期(2017年3月17日)	2,514		20	△0.6	—	98.5	6,203		
78期(2017年4月17日)	2,544		20	2.0	—	98.5	6,221		
79期(2017年5月17日)	2,494		20	△1.2	—	98.5	6,015		
80期(2017年6月19日)	2,447		20	△1.1	—	98.5	5,734		
81期(2017年7月18日)	2,389		20	△1.6	—	98.7	5,503		
82期(2017年8月17日)	2,335		20	△1.4	—	98.4	5,264		
83期(2017年9月19日)	2,333		20	0.8	—	98.5	5,174		
84期(2017年10月17日)	2,276		20	△1.6	—	98.3	5,011		
85期(2017年11月17日)	2,150		20	△4.7	—	98.5	4,616		
86期(2017年12月18日)	2,186		20	2.6	—	98.5	4,585		
87期(2018年1月17日)	2,176		20	0.5	—	98.3	4,505		
88期(2018年2月19日)	2,097		20	△2.7	—	98.8	4,285		
89期(2018年3月19日)	2,039		20	△1.8	—	98.8	4,121		
90期(2018年4月17日)	1,981		20	△1.9	—	98.5	3,945		
91期(2018年5月17日)	1,965		10	△0.3	—	98.5	3,854		
92期(2018年6月18日)	1,945		10	△0.5	—	98.5	3,715		
93期(2018年7月17日)	1,970		10	1.8	—	98.5	3,704		
94期(2018年8月17日)	1,901		10	△3.0	—	98.5	3,522		
95期(2018年9月18日)	1,796		10	△5.0	—	98.8	3,281		
96期(2018年10月17日)	1,852		10	3.7	—	98.5	3,317		

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

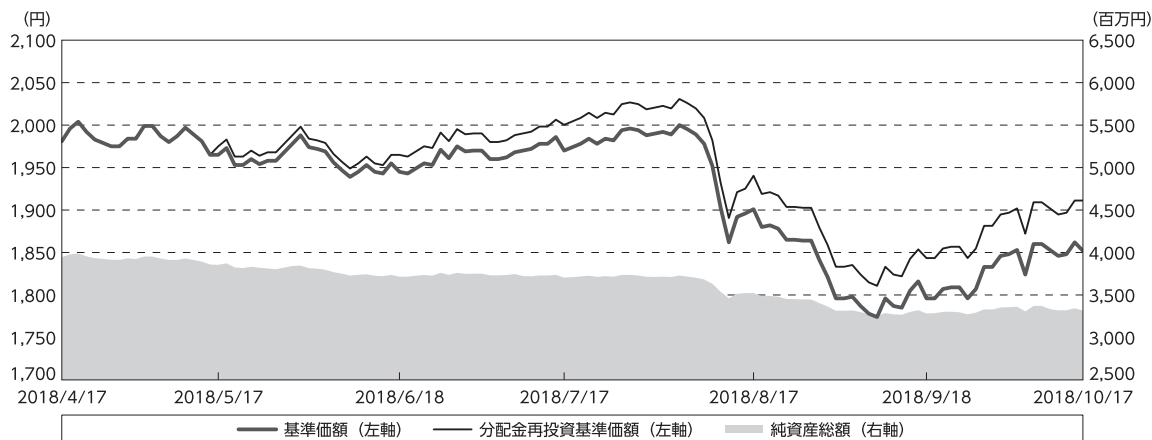
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
第91期	(期 首) 2018年4月17日	円 1,981	% -		% 98.5	
	4月末	1,984	0.2		98.3	
	(期 末) 2018年5月17日	1,975	△0.3		98.5	
第92期	(期 首) 2018年5月17日	1,965	-		98.5	
	5月末	1,988	1.2		98.5	
	(期 末) 2018年6月18日	1,955	△0.5		98.5	
第93期	(期 首) 2018年6月18日	1,945	-		98.5	
	6月末	1,970	1.3		98.6	
	(期 末) 2018年7月17日	1,980	1.8		98.5	
第94期	(期 首) 2018年7月17日	1,970	-		98.5	
	7月末	1,988	0.9		98.5	
	(期 末) 2018年8月17日	1,911	△3.0		98.5	
第95期	(期 首) 2018年8月17日	1,901	-		98.5	
	8月末	1,796	△5.5		98.5	
	(期 末) 2018年9月18日	1,806	△5.0		98.8	
第96期	(期 首) 2018年9月18日	1,796	-		98.8	
	9月末	1,833	2.1		98.5	
	(期 末) 2018年10月17日	1,862	3.7		98.5	

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年4月18日～2018年10月17日)

作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2018年4月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。現物資産のうち外貨建ての部分については、原則として対円で為替ヘッジを行ない、さらに新興国通貨戦略を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・組入れ資産からインカム収入を得たこと。
- ・高利回り債券が上昇したこと。
- ・不動産等関連証券が上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・新興国通貨戦略がマイナスに影響したこと。

投資環境

（高利回り債券市況）

高利回り債券市場は上昇しました。期間の初めから2018年5月にかけては、米国金利の上昇やスプレッド（上乘せ金利）の拡大により高利回り債券は弱含みました。その後9月にかけては、良好な景況感、企業業績の拡大を背景に米国のリスク性資産は堅調に推移し、高利回り債券は緩やかな上昇基調を辿りました。米中間の貿易戦争は続きましたが、それによる悪影響は限定的でした。FRB（米国連邦準備制度理事会）は6月と9月に利上げを決定し、3ヵ月に一度のペースでの連続利上げが続きましたが、金利市場は落ち着いた値動きに終始しました。8月にはアルゼンチン、トルコを中心に新興国市場が調整色を強めましたが、先進国市場では穏やかな流れが続きました。10月上旬に米国金利の上昇が顕著となったことを嫌気して米国株式が急落、高利回り債券も期間末にかけて調整し、上昇幅を縮小して期間末を迎えました。

（不動産等関連証券市況）

REIT市場は上昇しました。期間の初めから2018年8月にかけては、良好な景況感を背景に実物不動産市場が堅調に推移したこと、および金利がレンジ推移となったことからREIT市場は上昇基調を辿りました。期間末にかけては、米国金利の上昇が鮮明となったことからREIT市場は下落しましたが、期間末時点で前期末比プラスを確保しました。国別では米国と日本が好調となり、セクター別ではヘルスケアが最も好調で、特殊用途施設とホテル／リゾートが続きました。

MLP市場は上昇しました。主要MLPの2018年4－6月期決算が良好な内容であったこともあり、MLP市場は2018年夏場に騰勢を強めました。9月から期間末にかけては、REITと同じく金利の上昇を嫌気してMLPは下げましたが、期間中の上昇幅は2桁に迫るなど好調でした。

（優先証券市況）

優先証券市場は概ね横ばいでした。高利回り債券と概ね同様の展開でしたが、イタリアでポピュリスト連立政権が誕生し財政規律に緩みが見られたことを受けて、2018年5月以降にイタリア銘柄が軟調に推移したことが優先証券市場の投資パフォーマンスを押し下げました。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.06%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの－0.18%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.29%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス）

相対的に高い利回りが期待できる3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行ないました。資産配分においては、高利回り債券55%、不動産等関連証券25%、優先証券等20%をめどとしました。現物資産への投資にあたっては、外貨建て部分について、原則として対円で為替ヘッジを行ないました。

また、新興国通貨の中から、金利水準などをもとに、買い建てる通貨と売り建てる通貨を選択し、金利が相対的に高い通貨を買い建てると同時に金利が相対的に低い通貨を売り建てて、金利収入の獲得をめざしました。各資産における運用経過は以下の通りです。

高利回り債券の運用においては、マクロ経済・企業業績への明るい見通しに基づき、信用リスクをやや高めとしました。セクター別では情報通信やヘルスケアの投資比率を引き上げた一方、住宅建設や商品関連銘柄の投資比率は引き下げました。

不動産等関連証券の運用においては、REITとMLPの配分は概ね3対2としました。REITでは、金利の上昇傾向と老人ホームの新規建設に伴う供給過剰を考慮してヘルスケアの投資比率を引き下げました。MLPでは、石油・天然ガスの貯蔵・輸送関連銘柄の投資比率を引き上げました。

優先証券の運用においては、発行体がコールを実施しない可能性やその場合の価格リスクについても注視しながら、クーポンの高い銘柄や金利上昇への備えとして変動金利水準の高い銘柄を組み入れるといった投資行動をとりました。

期間中の新興国通貨戦略は、金利水準などをもとに、買い建てる通貨と売り建てる通貨を選択しました。期間の初めから2018年8月にかけてアメリカドルが上昇基調を強めたことを受けて、恒常的な経常赤字を抱えるアルゼンチンやトルコを中心に新興国通貨は大きく調整しました。期間末にかけて若干戻しましたが、新興国通貨は大幅なマイナスで期間末を迎えました。調整局面で、買いポジションの通貨のインドルピー、インドネシアルピア、トルコリラ、南アフリカランド、ブラジルリアルが2桁のマイナスを記録するなど、下げがきつくなりました。一方、売りポジションの通貨には相対的に高格付けの低金利通貨が多く含まれたため、買いポジションの通貨に比べて下落幅は抑制的でした。これらの要因により新興国通貨戦略全体のパフォーマンスはマイナスとなりました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市場動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2018年4月18日～ 2018年5月17日	2018年5月18日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日	2018年8月18日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月17日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.506%	0.512%	0.505%	0.523%	0.554%	0.537%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,234	2,281	2,330	2,381	2,433	2,487

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス）

引き続き、原則として、3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行なう方針です。現物資産のうち外貨建ての部分については、原則として対円で為替ヘッジを行ない、さらに新興国通貨戦略を行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2018年4月18日～2018年10月17日)

項 目	第91期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 11	% 0.585	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.141)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.428)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.021	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.018)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	11	0.606	
作成期間の平均基準価額は、1,926円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月18日～2018年10月17日)

投資信託証券

銘 柄		第91期～第96期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス	6,046,405	535,783	3,788,145	344,820	

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第91期～第96期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 44	千円 44	千口 685	千円 688

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月18日～2018年10月17日)

利害関係人との取引状況

<日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース）>

区分	第91期～第96期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 535	百万円 535	% 100.0	百万円 344	百万円 344	% 100.0
金銭信託	936	936	100.0	936	936	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第91期～第96期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 10,955	百万円 10,955	% 100.0	百万円 10,955	百万円 10,955	% 100.0

平均保有割合 0.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2018年4月18日～2018年10月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年4月18日～2018年10月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年10月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第90期末		第96期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス		38,447,040		40,705,300		3,268,635	98.5
合	計	38,447,040		40,705,300		3,268,635	98.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第90期末		第96期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド			3,893		3,251	3,262

(注) 親投資信託の2018年10月17日現在の受益権総口数は、592,539千口です。

○投資信託財産の構成

(2018年10月17日現在)

項	目	第96期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		3,268,635	96.8
マネー・アカウント・マザーファンド		3,262	0.1
コール・ローン等、その他		106,389	3.1
投資信託財産総額		3,378,286	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2018年5月17日現在	2018年6月18日現在	2018年7月17日現在	2018年8月17日現在	2018年9月18日現在	2018年10月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,909,097,237	3,762,898,662	3,772,412,629	3,563,086,934	3,318,990,944	3,378,286,357
コール・ローン等	96,745,255	86,457,888	106,857,802	72,079,855	74,420,744	91,992,082
投資信託受益証券(評価額)	3,796,583,391	3,660,196,999	3,648,992,781	3,471,554,487	3,241,265,822	3,268,635,629
マネー・アカウン・マザーファンド(評価額)	3,882,144	3,696,246	3,695,878	3,431,749	3,304,378	3,262,065
未収入金	11,886,447	12,547,529	12,866,168	16,020,843	-	14,396,581
(B) 負債	54,329,178	47,574,113	68,298,816	40,317,753	37,569,785	60,608,832
未払収益分配金	19,619,026	19,103,435	18,805,173	18,528,073	18,266,330	17,915,805
未払解約金	30,296,274	23,867,278	45,236,030	17,269,321	14,914,915	38,396,313
未払信託報酬	3,771,935	3,879,717	3,463,120	3,648,561	3,445,425	3,075,937
未払利息	167	71	155	118	110	132
その他未払費用	641,776	723,612	794,338	871,680	943,005	1,220,645
(C) 純資産総額(A-B)	3,854,768,059	3,715,324,549	3,704,113,813	3,522,769,181	3,281,421,159	3,317,677,525
元本	19,619,026,846	19,103,435,961	18,805,173,274	18,528,073,452	18,266,330,361	17,915,805,530
次期繰越損益金	△15,764,258,787	△15,388,111,412	△15,101,059,461	△15,005,304,271	△14,984,909,202	△14,598,128,005
(D) 受益権総口数	19,619,026,846口	19,103,435,961口	18,805,173,274口	18,528,073,452口	18,266,330,361口	17,915,805,530口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,965円	1,945円	1,970円	1,901円	1,796円	1,852円

(注) 当ファンドの第91期首元本額は19,915,602,623円、第91～96期中追加設定元本額は165,253,085円、第91～96期中一部解約元本額は2,165,050,178円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第91期0.1965円、第92期0.1945円、第93期0.1970円、第94期0.1901円、第95期0.1796円、第96期0.1852円です。

(注) 2018年10月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は14,598,128,005円です。

○損益の状況

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2018年4月18日～ 2018年5月17日	2018年5月18日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日	2018年8月18日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	113,591,701	113,430,777	114,417,390	115,734,505	117,080,029	118,485,048
受取配当金	113,594,650	113,433,772	114,420,094	115,737,467	117,082,826	118,487,205
受取利息	-	31	-	-	7	10
支払利息	△ 2,949	△ 3,026	△ 2,704	△ 2,962	△ 2,804	△ 2,167
(B) 有価証券売買損益	△ 122,037,320	△ 128,755,329	△ 45,434,136	△ 220,375,656	△ 287,009,420	1,861,091
売買益	918,845	1,767,471	816,175	1,336,917	3,780,260	2,151,949
売買損	△ 122,956,165	△ 130,522,800	△ 46,250,311	△ 221,711,973	△ 290,789,680	△ 290,858
(C) 信託報酬等	△ 3,868,658	△ 3,978,759	△ 3,553,669	△ 3,742,482	△ 3,533,363	△ 3,369,228
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,314,277	△ 19,303,311	65,429,585	△ 108,383,633	△ 173,462,754	116,976,911
(E) 前期繰越損益金	△ 12,667,038,572	△ 12,350,177,350	△ 12,180,363,029	△ 11,939,493,779	△ 11,880,571,454	△ 11,824,725,551
(F) 追加信託差損益金	△ 3,065,286,912	△ 2,999,527,316	△ 2,967,320,844	△ 2,938,898,786	△ 2,912,608,664	△ 2,872,463,560
(配当等相当額)	(580,348,232)	(569,529,748)	(565,112,760)	(561,603,638)	(558,528,405)	(552,880,006)
(売買損益相当額)	(△ 3,645,635,144)	(△ 3,569,057,064)	(△ 3,532,433,604)	(△ 3,500,502,424)	(△ 3,471,137,069)	(△ 3,425,343,566)
(G) 計(D+E+F)	△ 15,744,639,761	△ 15,369,007,977	△ 15,082,254,288	△ 14,986,776,198	△ 14,966,642,872	△ 14,580,212,200
(H) 収益分配金	△ 19,619,026	△ 19,103,435	△ 18,805,173	△ 18,528,073	△ 18,266,330	△ 17,915,805
次期繰越損益金(G+H)	△ 15,764,258,787	△ 15,388,111,412	△ 15,101,059,461	△ 15,005,304,271	△ 14,984,909,202	△ 14,598,128,005
追加信託差損益金	△ 3,065,286,912	△ 2,999,527,316	△ 2,967,320,844	△ 2,938,898,786	△ 2,912,608,664	△ 2,872,463,560
(配当等相当額)	(580,348,232)	(569,529,748)	(565,112,760)	(561,603,638)	(558,528,405)	(552,880,006)
(売買損益相当額)	(△ 3,645,635,144)	(△ 3,569,057,064)	(△ 3,532,433,604)	(△ 3,500,502,424)	(△ 3,471,137,069)	(△ 3,425,343,566)
分配準備積立金	3,802,983,490	3,789,218,717	3,817,793,273	3,850,335,165	3,886,499,714	3,904,289,048
繰越損益金	△ 16,501,955,365	△ 16,177,802,813	△ 15,951,531,890	△ 15,916,740,650	△ 15,958,800,252	△ 15,629,953,493

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2018年4月18日～2018年10月17日）は以下の通りです。

項 目	2018年4月18日～ 2018年5月17日	2018年5月18日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月17日	2018年7月18日～ 2018年8月17日	2018年8月18日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	109,722,872円	109,451,863円	110,863,575円	111,991,858円	113,546,519円	115,167,926円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	580,348,232円	569,529,748円	565,112,760円	561,603,638円	558,528,405円	552,880,006円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	3,712,879,644円	3,698,870,289円	3,725,734,871円	3,756,871,380円	3,791,219,525円	3,807,036,927円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,402,950,748円	4,377,851,900円	4,401,711,206円	4,430,466,876円	4,463,294,449円	4,475,084,859円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,244円	2,291円	2,340円	2,391円	2,443円	2,497円
g. 分配金	19,619,026円	19,103,435円	18,805,173円	18,528,073円	18,266,330円	17,915,805円
h. 分配金(1万円当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
1 万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

○お知らせ

約款変更について

2018年4月18日から2018年10月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス
	ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	信託財産の成長および毎月分配を行なうことを目標に積極的な運用を行ないます。
主な投資対象	世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)および新興国の通貨戦略の投資成果を享受するためのトータル・リターン・スワップ取引またはフォワード取引などを投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> 運用にあたっては、世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)を主な投資対象とし、円ヘッジベースでの信託財産の成長および毎月、分配を行なうことを目標に積極的な運用を行ないます。 信託財産の純資産総額に対して、新興国通貨戦略に関するスワップ取引またはフォワード取引などの実質的な建玉の割合が130%程度となるよう調整を行ないます。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。 投資信託証券など(ETFとREITを除きます。)への投資割合は純資産総額の5%を超えないものとします。 不動産連動社債への投資割合は純資産総額の10%を超えないものとします。 仕組債やカバードワラントなどの仕組証券(不動産連動社債を除きます。)への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。 流動性に欠ける資産への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。 純資産総額の10%を超える借入れは行ないません。
収益分配	原則として、毎月第2営業日に分配を行ないます。なお、投資顧問会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.861%(国内における消費税等相当額はかかりません。) ※この他に、固定報酬として年額5,000米ドルがかかります。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時の基準価額に対し0.3%(1口当たり)
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
副投資顧問会社	クレディ・スイス・アセット・マネジメント(スイス)リミテッド スペクトラム・アセット・マネジメント・インク J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・インク
管理会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
信託期間	2157年10月21日まで
決算日	原則として、毎年10月31日

◆財政状態計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日現在
 (日本円で表示)
 2017年
 千円

資産

現金および現金同等物	399,946
損益を通じて公正価値評価される金融資産	5,318,733
未収利息	69,240
未収配当金	3,610
ブローカーからの未収金	110,055

資産合計

5,901,584

負債

損益を通じて公正価値評価される金融負債	40,356
ブローカーに対する未払金	47,199
買戻しに係る未払金	21,682
未払費用およびその他未払金	16,112

負債合計 (受益者に帰属する純資産を除く)

125,349

受益者に帰属する純資産

5,776,235

受益証券残高数合計

クラスA	38,257,888,459
クラスB	1,743,292,071
クラスC	49,764,593
クラスD	<u>105,183,542</u>

受益証券1口当たり純資産価額

クラスA	¥	0.1246
クラスB	¥	0.5185
クラスC	¥	0.8680
クラスD	¥	<u>0.5866</u>

◆包括利益計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

受取利息	317,973
受取配当金	124,330
損益を通じて公正価値評価される金融資産に係る純損失	(376,956)
純為替差益	22,498
雑収益	1,949
利益合計	89,794
運用報酬	(52,431)
管理、名義書換代理人、カストディアン報酬	(7,596)
ライセンス料	(5,525)
監査費用	(7,518)
法律顧問費用	(663)
受託者報酬	(570)
銀行手数料	(102)
財務書類作成費用	(1,139)
運用費用合計	(75,544)
運用による税引前金融費用控除前利益	14,250
源泉徴収税	(30,766)
受益者に対する分配金	(1,627,172)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(1,643,688)

◆受益者に帰属する純資産の変動計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

期首残高	8,176,185
受益者との取引	
受益証券の申込み	
－ クラスA	741,030
－ クラスB	19,177
－ クラスC	33,153
－ クラスD	44,437
	837,797
受益証券の買戻し	
－ クラスA	(1,199,439)
－ クラスB	(320,171)
－ クラスC	(53,749)
－ クラスD	(20,700)
	(1,594,059)
受益者との取引合計	(756,262)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(1,643,688)
期末残高	5,776,235

◆キャッシュ・フロー計算書

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年10月31日に
終了した会計期間
(日本円で表示)
千円

運用活動

当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	(1, 643, 688)
調整額：	
受取利息	(317, 973)
受取配当金	(124, 330)
源泉徴収税	30, 766
受益者に対する分配金	1, 627, 172
運用資本変更前営業損失	(428, 053)
損益を通じて公正価値評価される金融資産の減少額	2, 339, 231
ブローカーからの未収金の減少額	3, 620
損益を通じて公正価値評価される金融負債の減少額	(107, 475)
ブローカーに対する未払金の減少額	(14, 844)
未払費用およびその他未払金の増加額	1, 331
利息受領額	334, 219
配当金受領額	130, 675
源泉徴収税支払額	(30, 766)
運用活動から生じた現金純額	2, 227, 938

財務活動

受益証券申込みに係る手取金	837,797
受益証券買戻しに係る支払金	(1,608,753)
受益者に対する分配金	(1,627,172)
	<hr/>
財務活動で使用した現金純額	(2,398,128)
	<hr/>
現金および現金同等物の純減少額	(170,190)
期首現在の現金および現金同等物の残高	570,136
	<hr/>
期末現在の現金および現金同等物の残高	399,946
	<hr/>

◆損益を通じて公正価値評価される金融資産および金融負債

ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2017年
千円

損益を通じて公正価値評価される金融資産：

非デリバティブ金融商品（上場）：

－ 株式	601,862
－ 不動産投資信託（REIT）	720,343
	<u>1,322,205</u>

非デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 債券	3,872,119
－ ローン	70,291
	<u>3,942,410</u>
	<u>5,264,615</u>

デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 外国為替先渡契約	51,566
－ ワラント	2,393
－ トータル・リターン・スワップ	159
	<u>54,118</u>
	<u>5,318,733</u>

損益を通じて公正価値評価される金融負債：

デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 外国為替先渡契約	(24,761)
－ トータル・リターン・スワップ	(15,595)
	<u>(40,356)</u>

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2018年10月12日）
（2017年10月13日～2018年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
5期(2014年10月14日)	円		%	%	百万円
	10,042		0.1	60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2017年10月12日	円		%
	10,038		—
10月末	10,038		0.0
11月末	10,037		△0.0
12月末	10,037		△0.0
2018年1月末	10,037		△0.0
2月末	10,036		△0.0
3月末	10,036		△0.0
4月末	10,035		△0.0
5月末	10,035		△0.0
6月末	10,034		△0.0
7月末	10,034		△0.0
8月末	10,033		△0.0
9月末	10,033		△0.0
(期 末) 2018年10月12日	10,032		△0.1

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2017年10月13日～2018年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,038円の基準価額は、期間末に10,032円となり、騰落率は△0.1%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.17%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

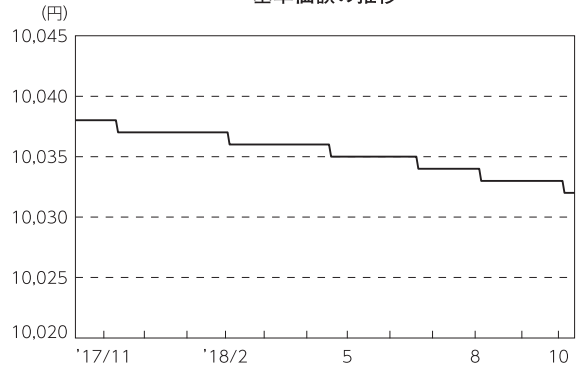
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2017/10/12	2017/10/13	2018/10/04	2018/10/12
10,038円	10,038円	10,032円	10,032円

○1万口当たりの費用明細

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.006	
期中の平均基準価額は、10,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月13日～2018年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2018年10月12日現在)

2018年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2018年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	605,858	100.0
投資信託財産総額	605,858	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				605,858,725
	コール・ローン等			605,858,725
(B) 負債				9,859,302
	未払解約金			9,858,703
	未払利息			599
(C) 純資産総額(A-B)				595,999,423
	元本			594,074,221
	次期繰越損益金			1,925,202
(D) 受益権総口数				594,074,221口
	1万円当たり基準価額(C/D)			10,032円

(注) 当ファンドの期首元本額は658,910,922円、期中追加設定元本額は304,155,041円、期中一部解約元本額は368,991,742円です。

(注) 2018年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	358,147,422円	・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	725,751円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	36,196,956円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	723,023円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	26,256,562円	・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	691,513円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	19,096,921円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	635,335円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	18,570,537円	・グローバルC o C o 債ファンド 先進国高金利通貨コース	544,823円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	15,981,965円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	463,986円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	12,364,787円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	460,453円
・世界標準債券ファンド	12,050,910円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	381,841円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	10,591,675円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	356,561円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	9,431,195円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	233,801円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	9,152,201円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	215,785円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	8,702,715円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	127,193円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,421,881円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	116,742円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	99,919円
・グリーン世銀債ファンド	4,236,231円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,764,914円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	72,778円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,251,660円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	47,478円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	3,051,032円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	40,587円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	3,035,103円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	38,995円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	2,956,103円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	23,036円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,052,394円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・エマージング・プラス・円戦略コース	2,037,236円	・上場インデックスファンドNifty50先物(インド株式)	19,983円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,967,219円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,694,896円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,671,472円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	16,193円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,646,511円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	12,325円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,507,644円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,146,753円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,998円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興グラビティ・ファンド	1,051,712円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	957,814円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,133円
・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	786,512円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0032円です。

○損益の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	361,869
	支払利息		1,241
(B) 保管費用等		△	363,110
(C) 当期損益金(A+B)		△	44,086
(D) 前期繰越損益金			405,955
(E) 追加信託差損益金			2,493,348
(F) 解約差損益金			1,111,221
(G) 計(C+D+E+F)		△	1,273,412
	次期繰越損益金(G)		1,925,202

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2017年10月13日から2018年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。